

5. 屋外側の仕様の規定

EPS

発泡スチロール協会・EPS建材推進部

◇ 屋外側の施工方法(構造用面材)

在来木造工法(4種類)	① 構造用面材を施工しない場合 構造用面材なし (屋外側) (室内側) 〈横架材〉 胴差、桁類 間柱 柱 充填・外張断熱工法 共通仕様 [横断面] [縦断面]	② 柱・間柱・横架材の屋外側表面に構造用面材を留める一般的な施工法 構造用面材 (屋外側) (室内側) 〈横架材〉 胴差、桁類 間柱 柱 充填・外張断熱工法 共通仕様 [横断面] [縦断面]
	③ 柱・間柱・横架材に取付けた受け材に構造用面材を留める施工法 構造用面材 (構造材とつらが合う) (屋外側) (室内側) 〈横架材〉 胴差、桁類 〈受け材〉 30×40mm以上 間柱 柱 〈受け材〉30×40mm以上 充填・外張断熱工法 共通仕様 [横断面] [縦断面]	④ 柱・間柱・横架材に取付けた受け材の室内側に構造用面材を留める施工法 構造用面材 (屋外側) (室内側) 〈横架材〉 胴差、桁類 〈受け材〉 30×40mm以上 間柱 柱 〈受け材〉30×40mm以上 充填断熱工法 のみの仕様 [横断面] [縦断面]
枠組壁工法(1種類)	○ たて枠材・横架材の屋外側表面に構造用面材を留める施工法 構造用面材 (屋外側) (室内側) 〈横架材〉 側根太等 たて枠材 充填・外張断熱工法 共通仕様 [横断面] [縦断面]	注1) 使用できる構造用面材の種類につきましては、在来木造工法と枠組壁工法で大きく異なります。表3(5)に構造用面材のリストをご参照ください。 注2) 上記構造用面材の施工方法に〈筋交い〉を併用する工法はすべて適用範囲内です。